

あの手この手

2015
9月号

あの手この手のマークの間のSはsolution(解決)のSです。
大和市民活動センター[拠点やまと] 第98号 2015年9月10日発行



▲水島新司の漫画「ドカベン」の像
大和の森・公園シリーズ⑥⇒4面



今年度の表紙は「やまと国際フレンドクラブ(IFC)」主催のくやまと国際アートフェスタ>で入賞した作品を掲載します。
5回目の今号は「ふれあい窯陶芸クラブ賞」受賞作品です。

「自然がいっぱい」柳橋小4年／菅原亜理沙さん(ブラジル)の作品
とてもカラフルで、ちょうちょうが印象的で、
すてきな「自然がいっぱい」の世界を絵を描いてくれました。

9月27日の「まちづくりワークショップ」で「発散」してみませんか？

当センター主催の連続共育セミナーは、“気づき”“出会い”から新たな活動を目指す「まちづくりワークショップ」を3回シリーズで開催。第1回はワールドカフェ方式でみんなの想いを「発散」しアイデアや活動のヒントを探ります。すでに活動している人、大和市民以外も大歓迎。9月24日(木)締切です。

カッコーフェスタ「ワークショップ」「ブース」の申込みはお早めに。

市民活動団体交流まつり“カッコーフェスタ”は、今年は11月7～8日に開催。この期間中に「ワークショップ」タイムを設けます。1団体につき1時間、先着10団体です。すでに5団体にお申し込みいただき、空き枠は9月5日現在、右の通りです。「ブース」のお申し込みも受付開始しました。いずれもお申し込みは当センターまでお早めに。

今年度の協働事業(継続事業)はすべて採択

8月24日に平成27年度協働事業提案検討結果報告会が、保健福祉センター5階会議室にて開催され、継続事業として提案されていた10事業(11団体)がすべて採択されました。

時間帯	11月7日(土)	11月8日(日)
10:30～11:30		
11:30～12:30	大和市の観光資源を発掘・企画する会	
12:30～13:30		ニッポン・アクティブライフ・クラブ(NALC)
13:30～14:30	やまと国際オペラ協会	
14:30～15:30	セカンドハーベスト・ジャパン	チームピースチャレンジャー



次に生かしてほしい。この夏の貴重な体験 ～感想特集～

夏休み中高生のボランティア体験 「このゆびとまれっ！」が無事終了。

当センターの夏の恒例企画「このゆびとまれっ！」には、21名の中学生、28名の高校生が参加。延べ人数は中学生27名、高校生41名、計68名となりました。参加した中高生(★)、受け入れ団体(◆)の感想をご紹介します(順不同)。みなさんのご協力に深く感謝いたします。

7/29・8/3・15・25●デイサービス ハッピー鶴間

高齢者支援(高齢者の話し相手・ゲーム相手)

★高齢者は、何回も同じことをすぐ聞いてくれるのが大変でした。しかし、昔のことを話してくれたし、自分を孫のように扱ってくれ、一緒にいることを喜んでくれました。コミュニケーションの大切さがよくわかりました。(世田谷学園中学校2年)

◆年齢の差や初対面という難しい条件にもかかわらず、積極的に会話やレクリエーションに参加し、学生らしいさわやかな雰囲気をお届けいただきました。(石井直樹)

8/10●大和サウンドテーブルテニスクラブ

障がい者支援(サウンドテーブルテニスの相手など)

★視覚障がいの方が早い球に素早く対応するのを見て、障がいがあっても人間やろうと思えばなんでもできるんだと思い、自分のこれからの励みにもなりました。(柏木学園高校2年)

◆若いエネルギーをたくさんいただき、楽しい一日でした。障害者スポーツを体験して理解を深められ、今後の学生生活や社会において福祉の勉強をされることを望みます。(高橋ミヤ)



8/25●大和市芸術文化振興会

文化活動支援(「0歳児からのコンサート」運営補助)

★子ども連れのお母さんが受付に来るたびに笑顔あふれて、こちらまで嬉しい気持ちになりました。大変なことなんてありませんでした！楽しむ心があれば大変だと思うことはないです。すごく楽しくて幸せな1日でした。(柏木学園高校2年)

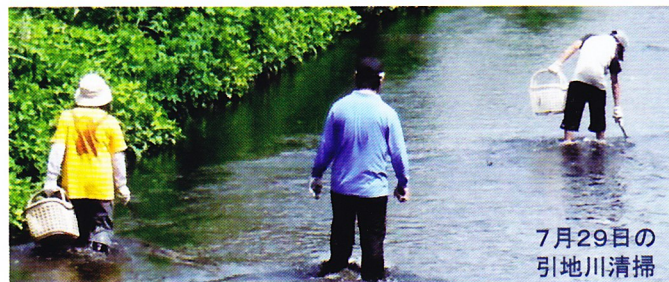
◆会場のセッティング、受付などを始めベビーカーの誘導など大活躍をしていただきました。特に開演中、泣いている乳児を優しくあやしてあげたりし、おむつ替え場への案内など、親子が安心して楽しめる環境づくりに力を注いいただきました。多くのお母さんから感謝のお言葉をいただきました。(小林三夫)

8/3・10・17・24●NPO法人地域家族しんちゃんハウス

子育て支援(子どもと遊ぶ)

★普段小さい子と遊ぶ機会がないのでとても楽しかった。多くの子に「遊ぼう～」と言われ嬉しかったけれど大変だった。ずっと遊んで疲れたけれど、いやされました。(大和中学校3年)

◆「はい」という返事はどのような場面ですみますか？ わからないことを解決しないまま「はい」と答えていますか？ 「1時に来てください」「はい」「来られない時は電話をしてください」「はい」。事前にこのようなやりとりをしたはずなのに、時間通りに来ない。連絡無く無断でキャンセル。今年はこのような子が何人もいてとても残念に思いました。『約束は責任をもつ』『できない約束は最初からしない』。なにも難しいことではありません。注意を受けたことが分からないまま「すみませんでした」と、とりあえず謝って済ませていませんか？ あなたの無責任な返事は、誰かを困らせ、傷つけることがあるのです。自分の言葉で、自分の考えをきちんと伝えられる人になってほしいと思います。(松井裕子)



7月29日の
引地川清掃

7/29・8/30●引地川水とみどりの会

環境保全(引地川の清掃)

★8月は雨で川の清掃が中止になり、代わりにスライドを見ましたが、改めて川の汚さを知らされました。動物が間違えてゴミを食べ死んでしまう話を聞いて悲しくなりました。将来、川をキレイにして動物を助けたいです。(柏木学園高校3年)

◆7月の体験清掃は気温33度と大変暑くなりましたが、参加された生徒さんが川に落ちているゴミを手際よく回収。予定通り終わることが出来ました。8月はあいにくのお天気でしたが、また都合の良い時に協力してくださいね！(五味尚生)

8/10・12・18・20●NPO法人WE21ジャパン大和

国際交流支援(リサイクルショップでの接客・提供品整理)

★大変だと思ったことはないですが、レジを使ったことがなかったの、最初は失敗をしましたが、先輩方はみんな優しく教えてくれました。(座間総合高校1年)

◆アメリカ・フィリピン・日本と出身が異なる3名にお願いでき、国際色豊かな出会いにとっても楽しい体験をさせていただきました。彼らの成長を、もう少し見ていきたいと感じています。(越後屋比佐子)

7/29・8/30●NPO法人サポートハウス ワン・ピース

障害児・者支援(知的障害児と遊ぶ)

★子どもたちが元気でパワーに圧倒されました。こうした知的障がいのある子たちの遊べる場所があることで、遠慮をすることなく遊ぶことができ、またその中で人との接し方や協調性を学ぶことができるのではないかと思います。(相模女子大学1年/インターンシップ)

◆中学生になると、障害のある同級生との関わりが少なくなります。ボランティアを通じ、気持ちを上手に表現できない子・話したくても言葉が出ない子・動きがスムーズにできない子など、たくさんの困っている子どもがいることに気付いてもらえたら嬉しいです。(滝本美知留)

8/25●チームピースチャレンジャー

国際交流支援(ミサンガ袋詰め・写真パネルづくり)

★インドの貧しい子ども達は私とは違って一生懸命に勉強して一生懸命生きようとしていました。幼稚園の時から今の私がわからないくらいのレベルの勉強をしていました。私も見なうって勉強し、たくさんの人のためになる必要性を感じました。(上和田中学校2年)

◆スライドで、貧困で食べられない子どもたちがいること、ようやく学校に行け、勉強出来ることに感謝して真剣に勉強する姿に接し、さらにミサンガの袋詰め共同作業をすることで、より深く自分を見つめることが出来たのではないかと思います。



最後に、現地の子どもたちへのメッセージを書いていただき、一人一人が真剣に書いている姿に、学生ボランティアの意義を感じました。(蔵田えり)

大和市での5日間のインターンシップを終えて



◆根市優香さん／相模女子大学1年

今回、市役所の幅広い仕事の内容や、女性の仕事と家庭の両立の話などを聞くことができ、自分の将来像を描くうえでとても参考になりました。また、ボランティア体験では、中高生の素直で真面目な取り組みに、自分も見習わなくては、と感じるほどでした。

印象深かったのは、チームピースチャレンジャーの取り組みです。インドの子どもたちが編んだミサンガを日本で売り、その売り上げで彼らに給食を寄付する活動をされています。「インドの子どもたちはお菓子をもらっても、自分より兄弟や他の人に分けようとする優しい子が多いんです」と聞かされ、彼らの思いやりの強さに驚きました。

思いやりを持って誰かのために行動する。これは、今回の実習を通して感じたことの一つでもあります。「人のために行動できる人」になれるよう日々の行動を改めていこうと思いました。

8月24日から5日間、インターンシップが大学生2名の参加で、市役所と市民活動センターで行われました。協働事業検討結果報告会や、大和市議会本会議を傍聴したり、市民活動センターの業務を手伝っていただいたりしたほか、0歳からのコンサート、ミサンガ袋詰め、障害児の遊び相手などのボランティアを体験。短い期間でしたが、何かと感じたものは多かったようです。以下に、お二人の感想をご紹介します。

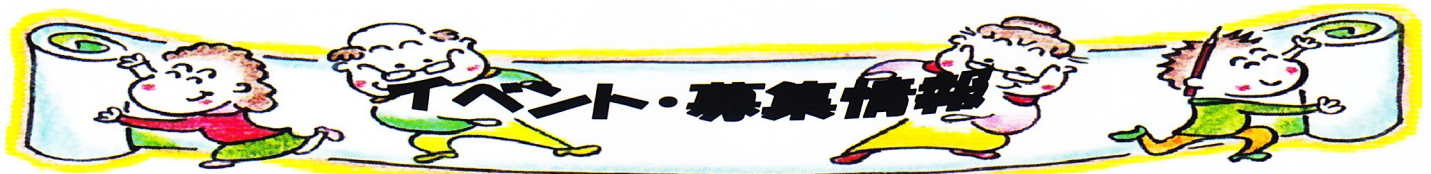


◆山崎紋佳さん／相模女子大学3年

市役所での仕事は想像より幅が広く、実に多様な業務があることを知ることができました。市民活動では、市が税収入でまかないきれない部分を、さまざまな活動をする人を助けたい気持ちでカバーしていて、とても素晴らしいと思いました。

ここでの体験を通してボランティアを正しく広める重要性をとて感じました。悪気はなくても、かえって人に迷惑をかけてしまったり、必ずしも自分の意志で参加していない話を聞いたりし、また市民活動センターの方が何かと苦労している様子を見ると、まだボランティアの意味がしっかりと伝わっていないのでは、と感じることもありました。

現代では金銭が絡むことばかりで愛情で働こうと思う人が少ない気がします。私は社会で愛を持って人と接し、自分のためにも、他人のためにもなるように生きていきたいと思いました。



新技術を活用しQOL(生活の質)を高めよう！ “アクティブシニア”のための スマートフォン体験会

スマートフォンに触れたことがない方、使ってみたいが使いこなせるか心配な方のためにスマートフォン無料体験会を開催。いざという時に役立つ安否確認などの仕方、基本的な操作の仕方などが体験できます。今回、ドコモの“らくらくスマートフォン”を受講者分用意。この会は販売会ではなく、また、お持ちの携帯電話がドコモでなくても構いません。

日 時：9月28日（月） 午前の部／10:00～12:00
午後の部／13:30～15:30

会 場：大和市保健福祉センター4階講習室
定 員：午前・午後の部とも各20名（先着順）
講 師：ドコモサポート株式会社
締 切：9月17日（木）
申込み：アダプティブテクノロジー事務局（谷口）
メール：ntaniguchi@jcom.home.ne.jp
TEL 090-4919-6604

ロケ地は大和！グランプリは賞金10万円 第6回ショートムービーコンテスト作品募集中

大和市の魅力を引き出した5分以内の映像作品を募集しています。大和市を舞台にした作品であれば、ジャンルも応募資格も問いません。出品作品は、来年3月開催予定のYAMATO映画祭2016で上映されます。

資 格：プロ・アマ・年齢・国籍を問わず応募可
締 切：12月25日（金）
応募先：大和市イベント観光協会（郵送または持参）
※大和駅内／TEL・FAX 046-260-5799
備 考：リーフレット、協会のホームページにある
応募要項をよく読み、指定の応募用紙で応募

9月20日で1周年！～毎月第3日曜日開催～ オレンジカフェ@やまと

オレンジカフェとは、認知症カフェともいい、厚生労働省の「オレンジプラン」で位置づけられ、全国的にも注目されている取り組みです。認知症本人や家族、専門職、ボランティアなどが、気軽に集い、おしゃべりをしたり、楽しみを分かち合ったり、相談したりできる場所です。

日 時：9月20日（日）13:00～16:00
※毎月第3日曜日の同時間に開催
会 場：デイサービス ハッピー鶴間
大和市西鶴間1-11-5／鶴間駅西口より徒歩5分
申込み：不要。時間内に都合のよい時間に。出入り自由
問合せ：やまと☆オレンジプロジェクト
TEL 046-283-3900
メール orange@kaigo-happy.com
備 考：飲食物の持ち込み自由。送迎が必要な方は要相談

8月5日（水）晴れ

外国にルーツを持つ子どもたちのために開催された夏休み学習教室『学べ～る』（やまと国際フレンドクラブ主催）。「教師になりたいのでこのボランティアに参加した」という男子高校生や、「両親が外国籍で、小さい頃困ったとき助けてもらったので、助けてあげたくて」と参加した高1の女子生徒など先生役の高校生、大学生は41人。48人の小中学生に、夏休みの宿題などの勉強のお手伝い。お互いに学び合う得難い機会になったようです。

8月8日（土）晴れ

光ヶ丘中学の生徒2名がPCで調べ物のために来館し、スタッフに「家で一番大変なことはなんですか？」と質問。「子どもたちが小さい頃、靴を洗うことだったわ。靴用洗濯機が開発されるのを待っていた記憶があるわ」。最近では靴洗い専用機が発売されてるとか。遅いわよ！

「センター」のある日ある時



＜出演しました！＞

録音CDが大和市民活動センターにあります。

第244回◆8月4日放送分

市民劇団 演劇やまと塾

～楽しい仲間と、楽しく稽古～

大和市の「演劇ワークショップ」に参加したメンバーが「1回の公演で終わるのはもったいないから始めた」と話してくれたのは、代表の上原さん。5年前に人が足りないと誘われて入塾した戸ヶ崎さんは、「仕事で疲れていても、稽古で大声を出すすと帰りは気持ちよく元気になっている」と笑顔で話されました。本番で台詞がとんでしまってアドリブで乗り切ったこともあるという沼田さん。家族の協力あってこそと感謝の言葉が。来年は劇団10周年を迎えるので、塾生の書いた作品で、来年完成の大和芸術文化ホールで公演をしたいと抱負を語られました。



第245回◆8月18日放送分

ディサービス ハッピー鶴間

～若い人と話すのが良い刺激に～

「ここで働くのが何よりも楽しい」そう語るのは、利用者さんから孫のように思われている職員兼イラストレーターの方野さんと、職員兼P.C番人の小川さんの若いお二人。初めはボランティアとして訪れたと笑顔で話されました。将棋のボランティアをしている小宮山さんは、「ハッピー鶴間は人も雰囲気も明るいのがいい」と話されました。夏休みの『このゆびとまれっ！』では、他にも多くの中高生たちが、利用者の話し相手をしました。夏休み以外にも定期的にボランティアにきている柏木学園高等学校の生徒もいて、「外に出る機会が少ない利用者さんは若い人と話をするのが良い刺激になっています」と代表の石井さん。「10月25日から利用者の作品を展示し近所の人に観ていただくハッピー鶴間芸術祭を開催します。また、12月1日に、高座渋谷に2号店を開設するので、ボランティアを募集中です」と呼びかけました。

＜9月の出演団体＞

※出演希望の団体を募集中！ 詳しくは当センターまで。

第246回◆9月1日放送

メヌエット

自治会イベント、地域コミセン祭り、老人ホーム、学校行事などで、リコーダーの演奏を行うことで、地域とのつながりを育んでいます。

第247回◆9月15日放送

NPO法人日本アニマルセラピー協会

老人ホーム、障害者施設、学校などを訪問し、高齢者に犬との触れあいを体験してもらうことで、心身の健康の増進を図っています。

第248回◆9月29日放送

NPO法人在日カンボジアコミュニティ

在日カンボジア人への支援活動、カンボジアの伝統文化などを一般市民に伝える活動、カンボジア王国の再建と復興への活動などを行っています。

大和市の森・公園シリーズ／第6回

大和市の公園といえば、まず最初に名前が上がるのは、**引地台公園**でしょう。5月には大和まつりのメイン会場になるほか、園内の大和スタジアムは、高校野球の予選会場としておなじみです。ドカベン球場の愛称があり、ドカベンこと4番打者の山田太郎の像(表紙上写真)と小さな巨人ことアンダースロー投手の里中智の像も建っています。また、屋根が開閉する温水プールがあり、ウォータースライダーが人気です。いまさら紹介するまでもない公園ですが、いくつか知っておきたいことも。通年営業の温水プールは、老朽化に伴う改修工事のため、9月24日から来年の3月31日まで休場となることです。しかしグッドニュースも



もあります。園内に1周1キロのランニングコースができ、更衣室などのスペースも整備されました。また、花壇に飾られた野外音楽堂(写真上)の利用料はなんと1時間250円と格安。この魅力たっぷりの公園のすぐそばには、フィールドアスレチックが無料で楽しめる**やまと冒険の森**も(写真下)。老朽化のため27基中8基しか使えず、残念ながら遊具の更新・再設置予定はないようですが、いまや穴場の遊び場かも。

編集後記

やまと冒険の森の話の続きですが私は横浜市旭区の住人ながら、娘が小さかった頃、実はここには何度も遊びに来たことがあり、大和市にはこんな施設があることを、うらやましく思っていたものです。約10年ぶりに訪問して、やはり淋しい気持ちは禁じえませんでした。(と)

大和市民活動センターは「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいて設置されています。

「あの手 この手」 第98号 発行日：2015年 9月10日

発行：大和市民活動センター 拠点やまと

大和市民活動センター <開館・月～土 9:00～18:00>
〒242-0021 大和市中心 1-5-1 (大和駅南口より徒歩2分)

TEL:046-260-2586 FAX:046-205-5788

e-mail: yamato@ar.wakwak.com

http://www.kyodounokyoten.com/

※祝日も9:00～18:00で開館しています。